

2023年3月期第2四半期累計
決算説明資料

菊水ホールディングス株式会社
<https://kikusui-holdings.co.jp>

当社グループの紹介

P3～

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

P13～

2023年3月期 連結業績予想

P24～

● 会社概要 (2022年9月末現在)

社名(銘柄コード)	菊水ホールディングス株式会社(6912) ※2022年10月1日付けで持株会社体制へ移行し、 菊水電子工業株式会社は商号を「菊水ホールディングス株式会社」に変更いたしました。	
設立	1951年(昭和26年)8月8日	
資本金	22億125万円(3月決算)	
発行済株式数	9,900,000株(1単元株数100株)	
事業内容	グループ会社の経営管理等	
大株主 (自己株式は含まず)	株式会社ケーティーエム	10.88%
	菊水取引先持株会	10.49%
	菊水電子工業従業員持株会	4.65%
	株式会社みずほ銀行	4.31%
	小林寛子	4.15%
	日本生命保険相互会社	3.60%
	アジア電子工業株式会社	3.47%
	ケル株式会社	2.63%
	株式会社三菱UFJ銀行	2.57%
	橋本幸雄	2.25%
代表者	代表取締役社長 小林一夫	
従業員数 (当社グループ)	321名(2022年9月末現在) []は前年比増減	
	研究開発	88名[- 4]
	生産・購買	89名[+ 2]
	営業	114名[+ 3]
	管理	30名[+ 2]

● 菊水グループ各社の拠点



●は海外代理店

菊水ホールディングス株式会社

本社（神奈川県横浜市都筑区）

関連子会社

菊水電子工業株式会社(神奈川県横浜市都筑区)

2022年4月設立 連結 出資比率:100%

営業所:横浜、仙台、さいたま、名古屋、吹田、福岡(出張所)

菊水エムズ株式会社(山梨県南都留郡富士河口湖町)

2022年4月設立 連結 出資比率:100%

菊水貿易(上海)有限公司(中国 上海市)

2006年6月設立 連結 出資比率:100%

KIKUSUI AMERICA, INC. (米国カリフォルニア州トーランス市)

2004年10月設立 連結 出資比率:100%

フジテック株式会社(山梨県南都留郡富士河口湖町)

※菊水エムズ株式会社 子会社

1986年6月設立

沿革

2002 平成14年

上海に駐在員事務所開設
中国でのサポート体制拡充へ
購買EDI（電子発注システム）
「Skip」稼働開始

世界の工場として発展する中国！
日系企業の中国工場が増大
当社としても現地サポート体制の
拡充が急務となった...

中国のサービス拠点（駐場の写真）

社長の中国出張を
伝える報道（電波新聞）

購買EDI（電子発注システム）
稼働開始

中国のサービス拠点（駐場の写真）

社長の中国出張を
伝える報道（電波新聞）

2005 平成17年

燃料電池評価技術に関する技術協力を
中国科学院大連化学物理研究所
（DICP）と締結
HD DVD用計測器について
パルステック工業との協業を発表

燃料電池評価技術の確立を目指して
中国科学院大連化学物理研究所
（DICP）と技術協力を発表

燃料電池評価技術の確立を目指して
中国科学院大連化学物理研究所
（DICP）と技術協力を発表

燃料電池評価技術の確立を目指して
中国科学院大連化学物理研究所
（DICP）と技術協力を発表

燃料電池評価技術の確立を目指して
中国科学院大連化学物理研究所
（DICP）と技術協力を発表

2006 平成18年

創立55周年記念式典開催
中華人民共和国・上海市に
菊水貿易（上海）有限公司を設立
PSE法<電気用品安全法>稼働

創立55周年を記念して
祝賀会・周年パーティーを開催

創立55周年記念式典開催
中華人民共和国・上海市に
菊水貿易（上海）有限公司を設立
PSE法<電気用品安全法>稼働

創立55周年記念式典開催
中華人民共和国・上海市に
菊水貿易（上海）有限公司を設立
PSE法<電気用品安全法>稼働

2009 平成21年

旧デクシオ社より
エアロフレックス社製アビオニクス製品の
日本販売代理店権を継承
中国拠点の合理化

エアロフレックス社製
アビオニクス製品の
日本販売代理店権を継承

エアロフレックス社製
アビオニクス製品の
日本販売代理店権を継承

エアロフレックス社製
アビオニクス製品の
日本販売代理店権を継承

2011 平成23年

コーポレートサイトの
デザイン（日本語ページ）を
全面リニューアル

コーポレートサイトの
デザイン（日本語ページ）を
全面リニューアル

コーポレートサイトの
デザイン（日本語ページ）を
全面リニューアル

コーポレートサイトの
デザイン（日本語ページ）を
全面リニューアル

2012 平成24年

EV自動車レース協賛
（JEVRA、ハイクスEVチャレンジ）
北関東営業所移転

EV自動車レース協賛
（JEVRA、ハイクスEVチャレンジ）
北関東営業所移転

EV自動車レース協賛
（JEVRA、ハイクスEVチャレンジ）
北関東営業所移転

EV自動車レース協賛
（JEVRA、ハイクスEVチャレンジ）
北関東営業所移転

2013 平成25年

電力中央研究所
PCR（リチウムイオン電池）製造試験機採用
大容量交流電源PCR81000Eを納入
Amazon販売開始

電力中央研究所
PCR（リチウムイオン電池）製造試験機採用
大容量交流電源PCR81000Eを納入
Amazon販売開始

電力中央研究所
PCR（リチウムイオン電池）製造試験機採用
大容量交流電源PCR81000Eを納入
Amazon販売開始

電力中央研究所
PCR（リチウムイオン電池）製造試験機採用
大容量交流電源PCR81000Eを納入
Amazon販売開始

2014-15 平成26~27年

直流電源PMX-Aシリーズ
マスコットキャラクター Pobby
菊水貿易（上海）有限公司を移転

直流電源PMX-Aシリーズ
マスコットキャラクター Pobby
菊水貿易（上海）有限公司を移転

直流電源PMX-Aシリーズ
マスコットキャラクター Pobby
菊水貿易（上海）有限公司を移転

直流電源PMX-Aシリーズ
マスコットキャラクター Pobby
菊水貿易（上海）有限公司を移転

2016-18 平成28~30年

ソリューション開発サイト
KIKUSUI magを開発
販促学習マンガ（ハイカワ）公開
本社佐倉地区事務所（センタービル）に研修
技術センターを「菊水研習センター」に改称

ソリューション開発サイト
KIKUSUI magを開発
販促学習マンガ（ハイカワ）公開
本社佐倉地区事務所（センタービル）に研修
技術センターを「菊水研習センター」に改称

ソリューション開発サイト
KIKUSUI magを開発
販促学習マンガ（ハイカワ）公開
本社佐倉地区事務所（センタービル）に研修
技術センターを「菊水研習センター」に改称

ソリューション開発サイト
KIKUSUI magを開発
販促学習マンガ（ハイカワ）公開
本社佐倉地区事務所（センタービル）に研修
技術センターを「菊水研習センター」に改称

● 事業活動トピックス

<新製品>

<イベント>

- ・PCR-LE、PWXラインアップ追加
- ・Milla-E20（電気自動車(EV)急速充電器）



2012

- ・東海営業所 新社屋竣工

- ・TOS9213AS(太陽光パネル用耐電圧・絶縁抵抗試験器)
- ・PLZ-4W(電子負荷)スマートラックの拡充



2013

- ・TOS7210S(PID絶縁試験器)
- ・TOS5200(耐電圧試験器)



2014

- ・PMX-Aシリーズ(小型直流電源)



2015

- ・PLZ-5Wシリーズ(電子負荷)



2016

- ・富士勝山事業所にデモルーム開設
- ・Webサイト「KIKUSUI mag」開設

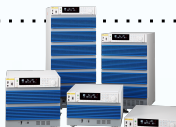
- ・PWR-01シリーズ(直流電源)



2017

- ・本社を横浜市都筑区茅ヶ崎中央へ移転

- ・PCR-WE/WE2シリーズ(交流電源)



2018

- ・菊水創発センター リノベーション工事完了
- ・KIKUSUI AMERICA, INC. トーランス市に移転

- ・TOS9300シリーズ(電気安全規格試験マルチアナライザ)



2019

- ・ドイツ デュッセルドルフに駐在員事務所を開設

- ・PAN-Eシリーズ(直流電源)



2020

- ・PCR-WEA/WEA2シリーズ(交流電源)
- ・PCJシリーズ(交流電源)
- ・TOS9300 ラインアップ追加



2021

- ・菊水貿易(上海)有限公司 北京分公司を開設
- ・創立70周年記念 昭和レトロ計測器ブルートゥーススピーカー3機種発売
- ・会社分割による持株会社体制へ移行

- ・PCR-WEA/WEA2 シリーズ(交流電源) フロントパネル変更
- ・ハイレートバッテリーテスタ PFX2731S



2022

- ・菊水電子工業株式会社及び菊水エムズ株式会社2社を承継会社とする吸収分割

● ビジネスモデル

当社グループの独自性

計測技術と電源技術の両方を有していること！

(微小から大電流まで、電気エネルギーを高精度で制御、測定する技術・ノウハウ)

[顧客]



メーカー

(電機・電子機器、電子部品、自動車)

研究

開発・設計

生産

検査

メンテナンス

公的研究所・機関
教育機関(大学等)

工業試験所
(テストラボ)

公的機関
(防衛、警察等)

グローバルに販売展開！

電子計測器

電気のモノサシ、産業の「マザーツール」として、家電製品、OA機器、電子製品などの「安全性」や「正確性」の測定・試験に使用されます。近年は、自動車のノイズ耐性(EMC)に関する試験、またEV用バッテリーの絶縁性能試験の測定需要が高まっています。

耐電圧試験器



EMC試験器



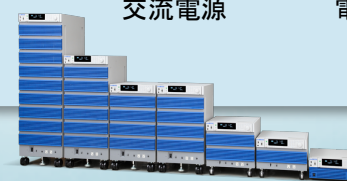
電源機器

研究開発や製造工場などで、安定した電力(直流・交流)を供給する設備として使用されます。近年は、宇宙産業・電子部品市場での評価試験や製造設備用として直流電源、ハイブリッドカー・電気自動車の評価に必須となる電子負荷装置(電力を消費する装置)、パワーコンディショナーなどの評価に必要な交流電源の需要が高まっています。

直流電源



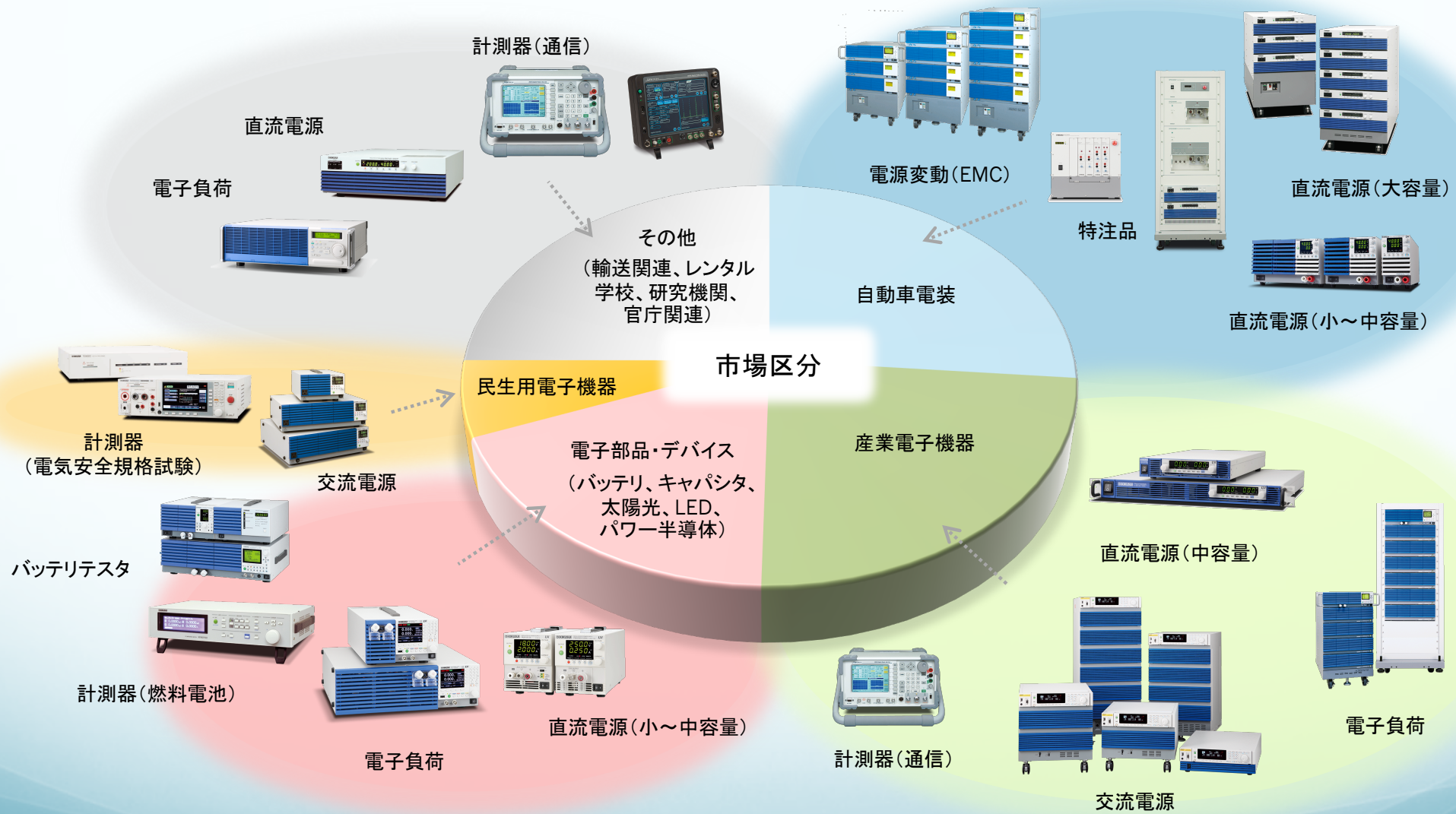
交流電源



電子負荷



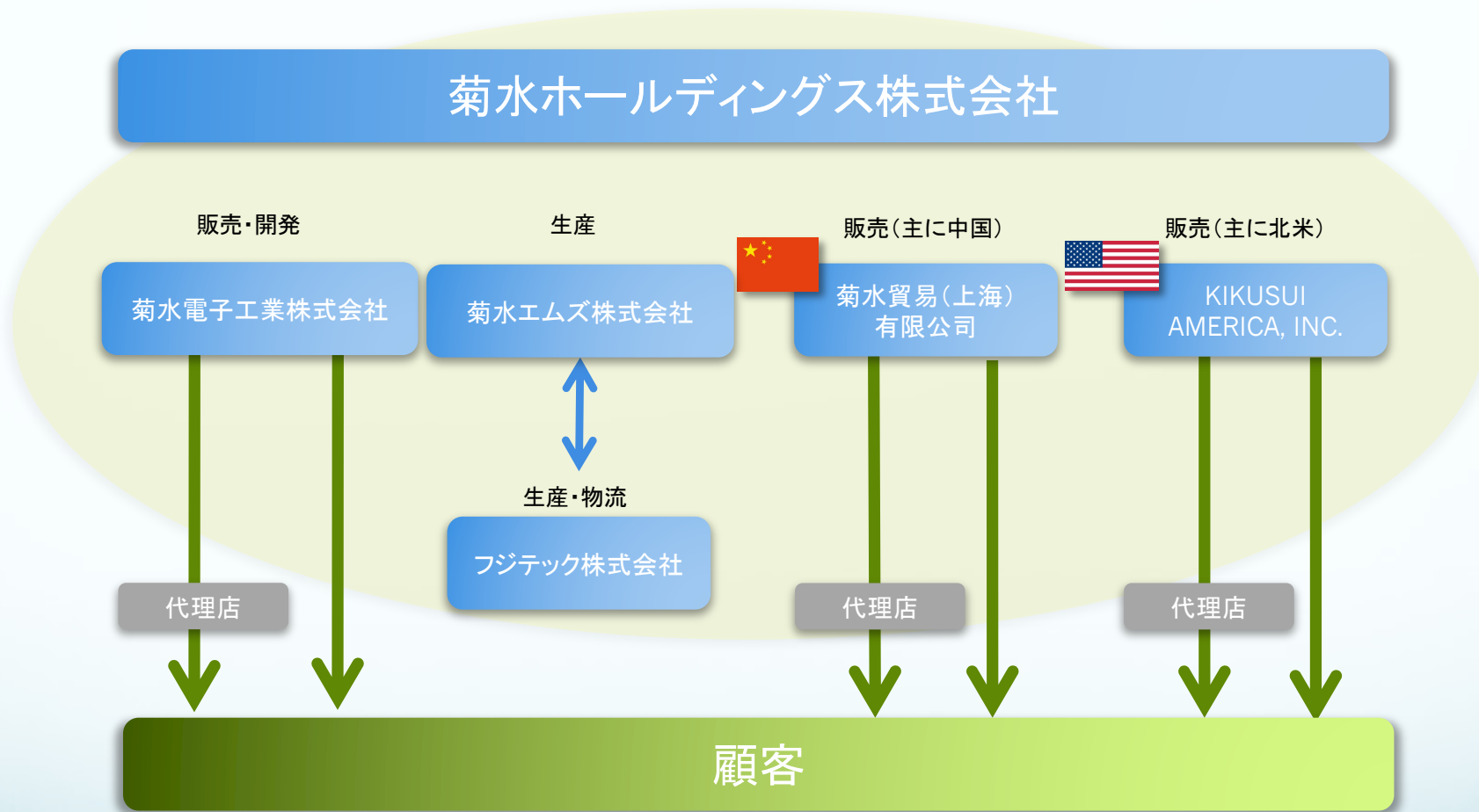
● 市場と製品



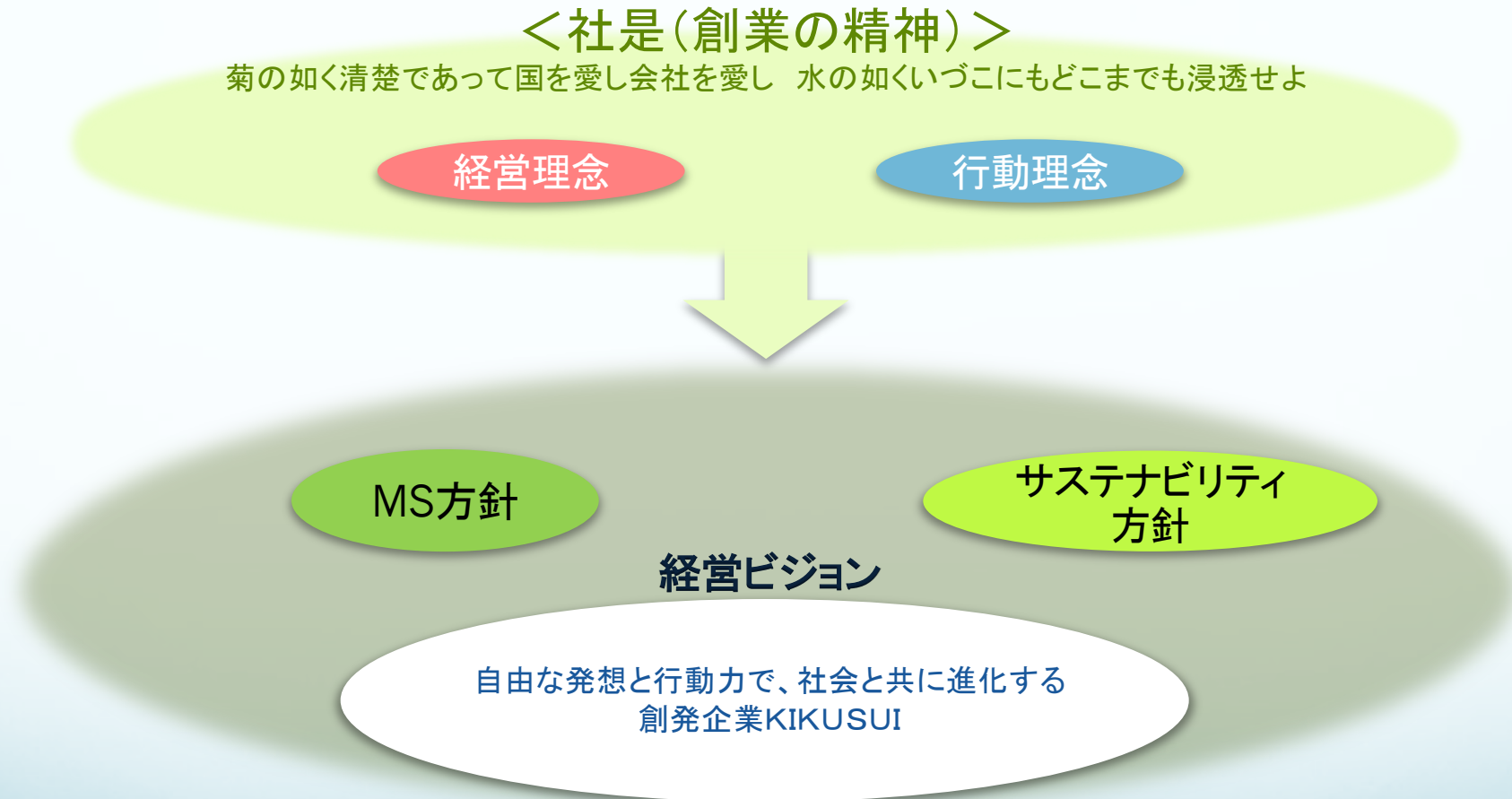
(2022年3月期実績による)

● 事業系統図

← 製品販売

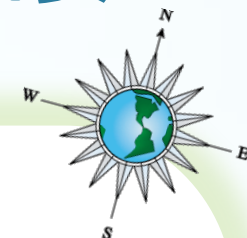


- コーポレートステートメント



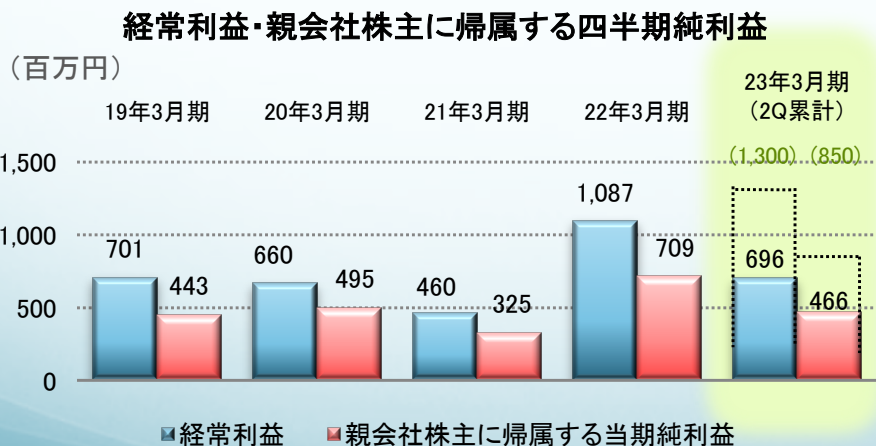
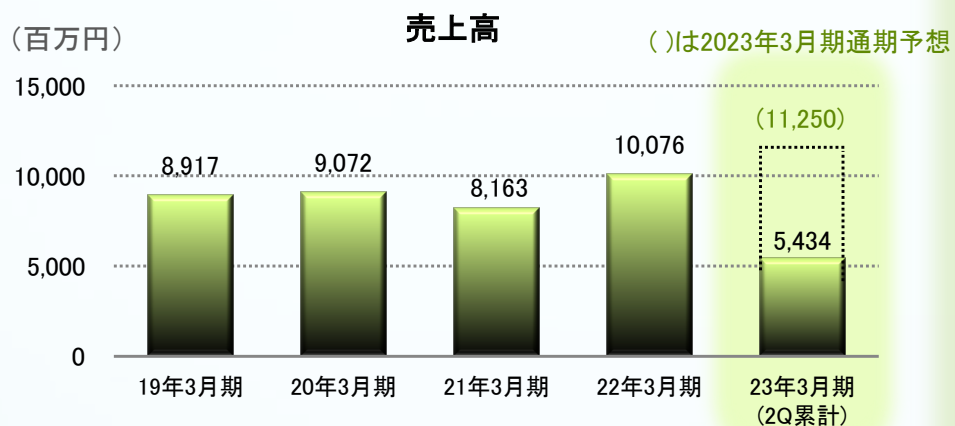
2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要



● 決算サマリー

- 売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益



経営の概況

当社グループが属する電気計測器業界においては、世界各国でのカーボンニュートラル実現に向けた取り組み等により、自動車関連市場、電池関連市場及び半導体関連市場、また、5G(第5世代移動通信システム)関連市場など、グローバルで需要の回復が進んでおります。

このような状況の中、当社グループは、中国上海のロックダウン(都市封鎖)期間中は、現地子会社において営業活動や物流の制約を受けたものの、受注環境は好調に推移しており、グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、感染拡大防止に対応したオンライン商談や海外物流網の混乱に対する輸送ルートや積載スペースの確保並びにWebを活用した販売促進活動を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原材料の長納期化に対応すべく部品調達活動、生産活動にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、米国、中国を中心に海外売上高が好調に推移したことにより、54億3千4百万円(前年同四半期比16.3%増)となりました。

損益面におきましては、原材料価格の高騰及び円安による仕入コストの上昇等により、営業利益6億3千1百万円(前年同四半期比12.5%増)、経常利益6億9千6百万円(前年同四半期比17.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億6千6百万円(前年同四半期比13.1%増)となりました。

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 損益計算書

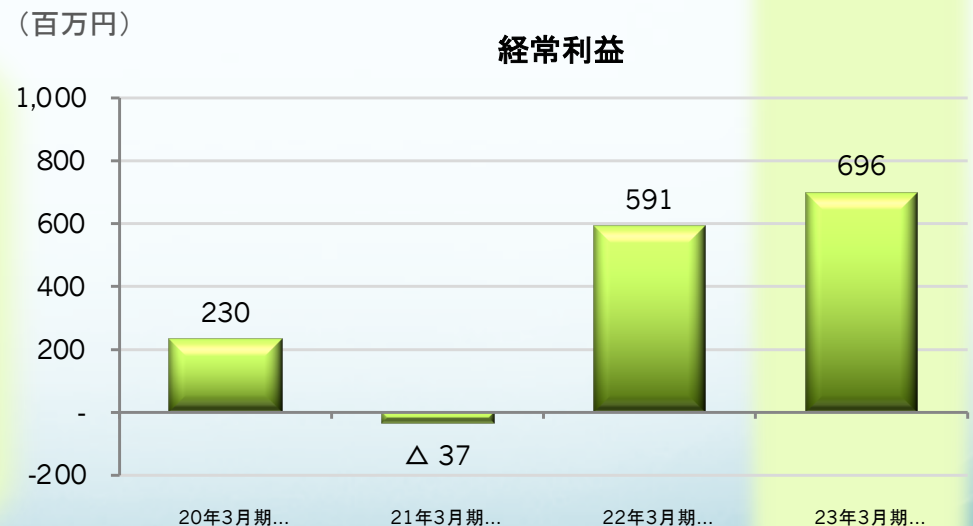
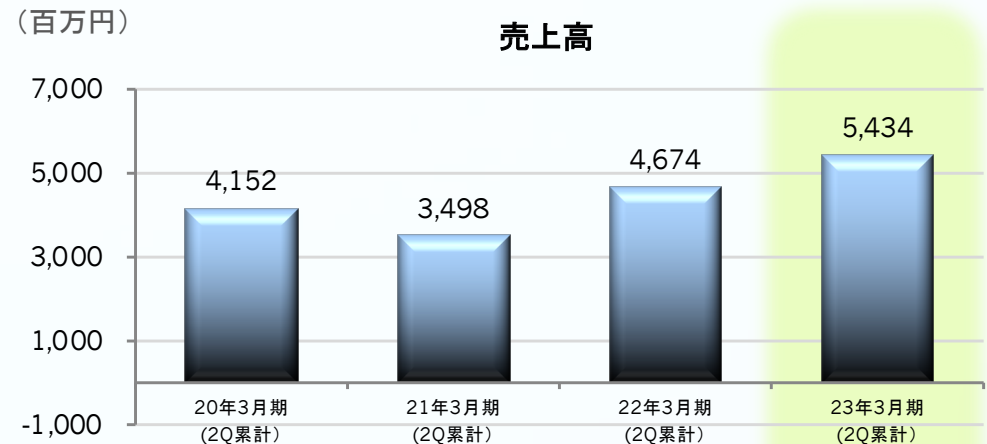
	22年/3月期(2Q累計)		23年/3月期(2Q累計)		前年同期比	
	金額(百万円)	対売上構成比(%)	金額(百万円)	対売上構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
売上高	4,674	100.0	5,434	100.0	760	16.3
売上原価	2,238	47.9	2,802	51.6	563	25.2
売上総利益	2,435	52.1	2,632	48.4	196	8.1
販売費及び一般管理費	1,875	40.1	2,001	36.8	126	6.7
営業利益	560	12.0	631	11.6	70	12.5
営業外収益	50	1.1	82	1.5	31	61.4
営業外費用	20	0.4	16	0.3	△3	△17.5
経常利益	591	12.6	696	12.8	105	17.8
税金等調整前四半期純利益	591	12.6	696	12.8	105	17.8
法人税等	178	3.8	229	4.2	50	28.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	412	8.8	466	8.6	54	13.1
1株当たり四半期純利益	49.59円		55.96円			

※単位未満の金額は切捨て、百分率は四捨五入。

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 売上高と経常利益

- 売上高: 5,434百万円
【前年同期 4,674百万円】 +16.3%
- 経常利益: 696百万円
【前年同期 591百万円】 +17.8%
- 親会社株主に帰属する
四半期純利益: 466百万円
【前年同期 412百万円】 +13.1%



Point



中国上海のロックダウン(都市封鎖)期間中は、現地子会社において営業活動や物流の制約を受けたものの、受注環境は好調に推移しており、グローバル需要を捉えるべく、重点市場である航空宇宙、電池、自動車のCASE(コネクテッド、自動運転、シェアリング、電動化)、サーバー・ICT(情報通信技術)関連市場へ顧客ニーズに合わせたソリューション提案営業を積極的に展開し、感染拡大防止に対応したオンライン商談や海外物流網の混乱に対する輸送ルートや積載スペースの確保並びにWebを活用した販売促進活動等を進めるなど売上拡大に努めるとともに、原材料の長納期化に対応すべく部品調達活動、生産活動にも努力を重ねてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、米国、中国を中心に海外売上高が好調に推移したことにより、54億3千4百万円(前年同四半期比16.3%増)となりました。

損益面におきましては、原材料価格の高騰及び円安による仕入コストの上昇等により、営業利益6億3千1百万円(前年同四半期比12.5%増)、経常利益6億9千6百万円(前年同四半期比17.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4億6千6百万円(前年同四半期比13.1%増)となりました。

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 製品群別売上概況

- 電子計測器:1,418百万円
【前年同期 1,112百万円】 **+27.5%**
- 電源機器:3,803百万円
【前年同期 3,366百万円】 **+13.0%**
- その他:213百万円
【前年同期 195百万円】 **+9.0%**

Point



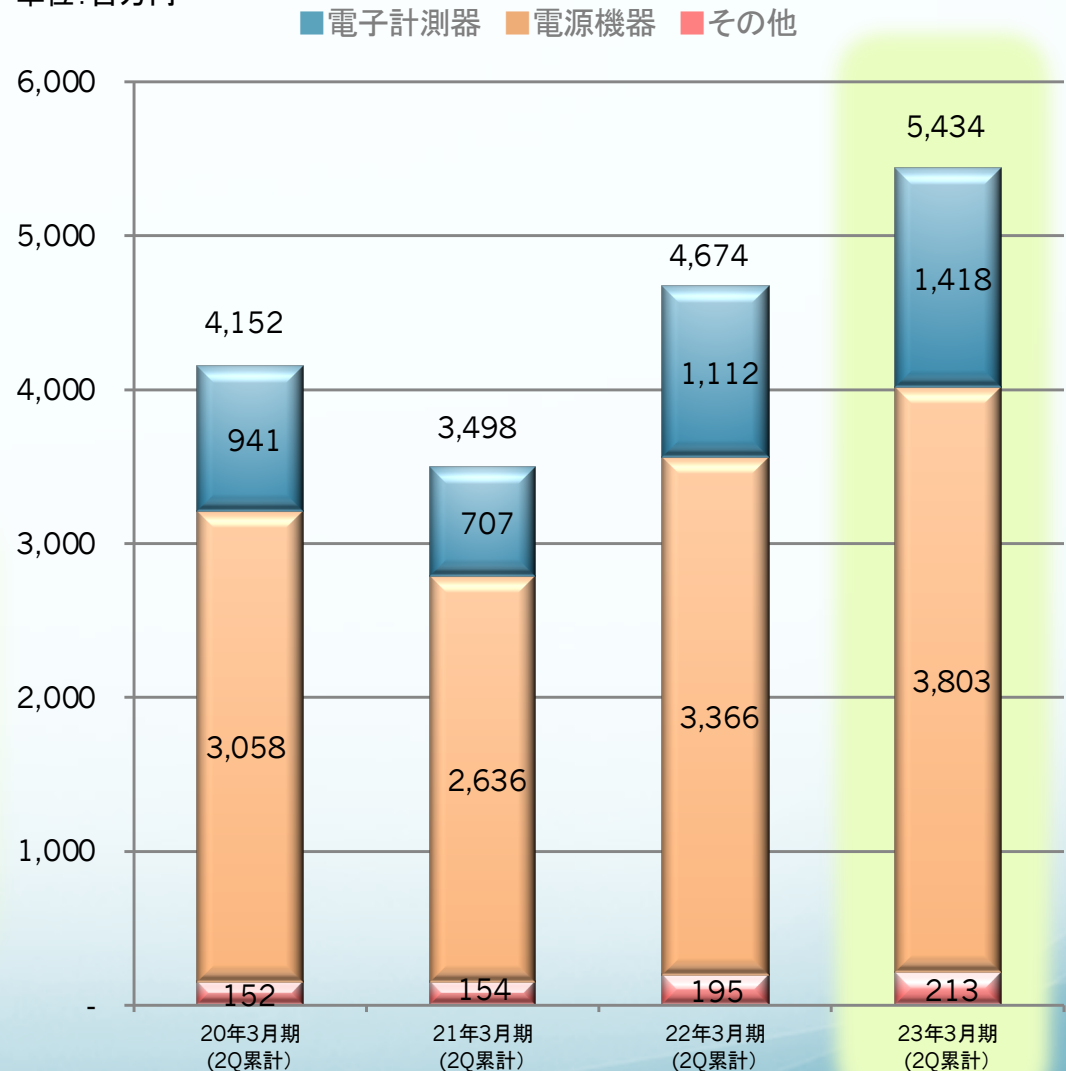
＜＜電子計測器群＞＞

航空機器用電子機器の測定器は動きがなく低調に推移いたしました。安全関連試験機器は、EV(電気自動車)用バッテリーの耐電圧・絶縁試験抵抗試験器として電池関連市場並びにパワー半導体関連市場向けに好調に推移いたしました。

＜＜電源機器群＞＞

直流電源は、宇宙産業市場、車載関連市場、半導体関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。交流電源は、車載関連市場、ICT関連市場及びエネルギー関連市場への評価試験や製造設備用として好調に推移いたしました。電子負荷装置は、次世代自動車関連市場及びエネルギー関連市場への評価試験用として好調に推移いたしました。

単位:百万円



2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 製品群別売上高構成比

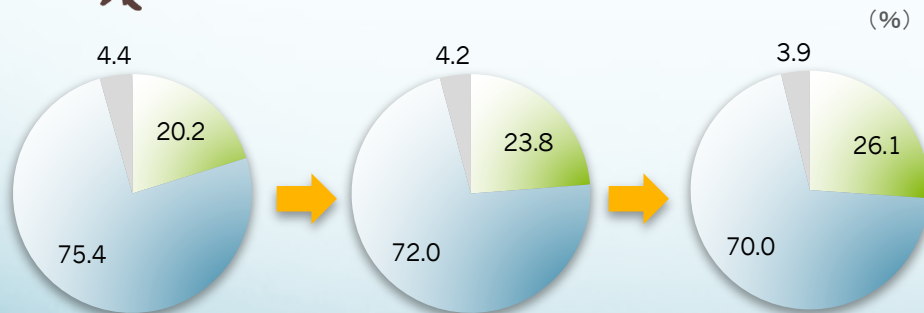
- 電子計測器: 26.1%
【前年同期 23.8%】 **+2.3%**
- 電源機器: 70.0%
【前年同期 72.0%】 **△2.0%**
- その他: 3.9%
【前年同期 4.2%】 **△0.3%**

Point



電子計測器の構成比率が増加し、電源機器の構成比率が減少しました。

- 電子計測器
- 電源機器
- その他



21年3月期
(2Q累計)

22年3月期
(2Q累計)

23年3月期
(2Q累計)

● 製品群別売上総利益率

- 電子計測器: 43.3%
【前年同期 50.1%】 **△6.8%**
- 電源機器: 48.6%
【前年同期 51.4%】 **△2.8%**

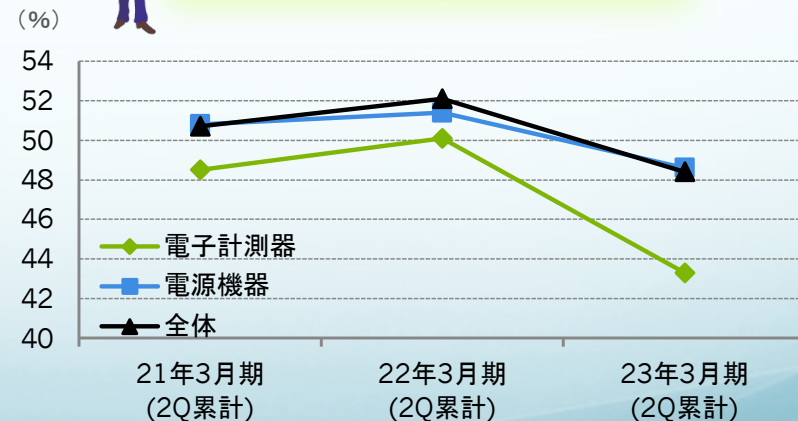
売上総利益率: 48.4%

【前年同期 52.1%】 **△3.7%**

Point



原価低減と経費節減に努力を重ねてまいりましたが、原材料価格の高騰及び円安による仕入コストの上昇等により売上総利益が減少しました。



21年3月期
(2Q累計)

22年3月期
(2Q累計)

23年3月期
(2Q累計)

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 海外売上高

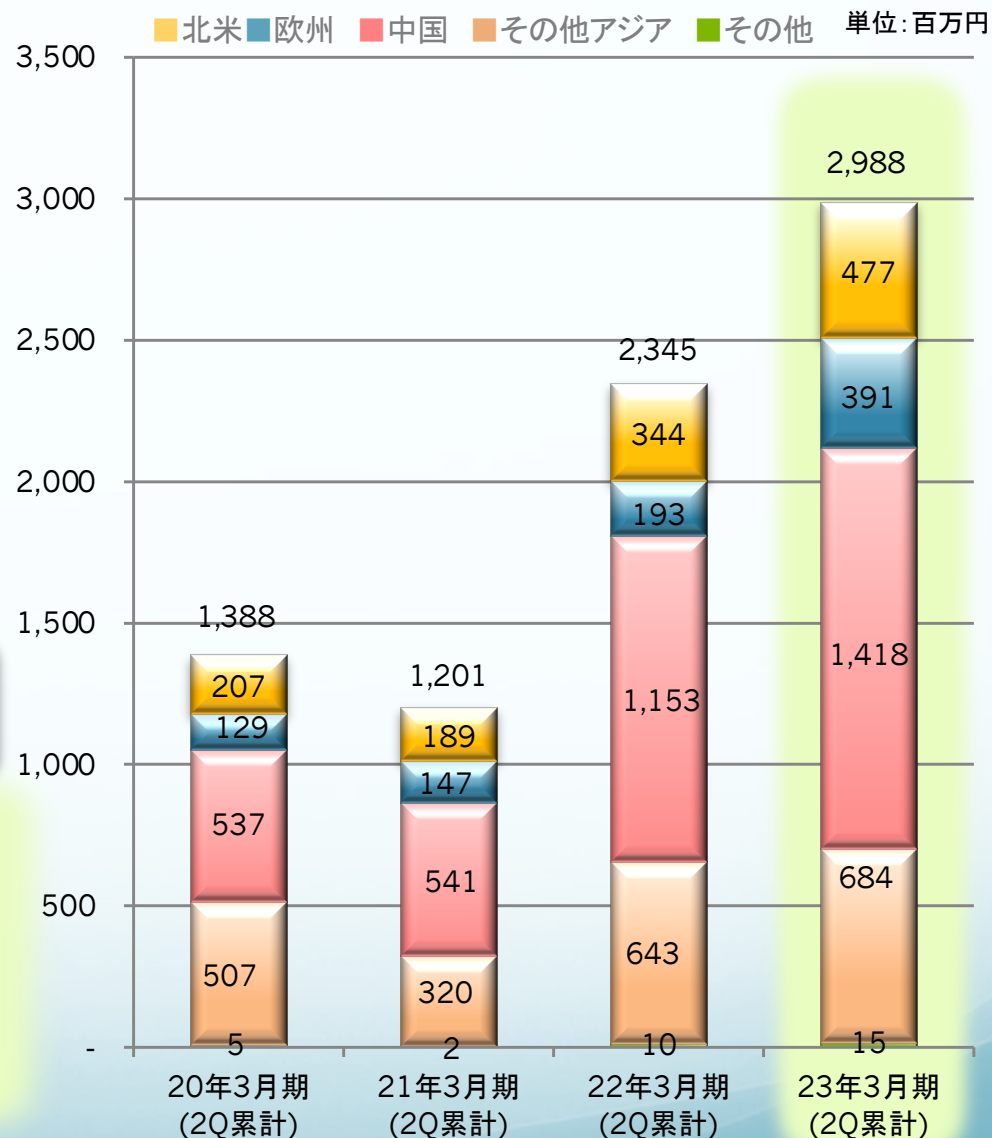
- 北米:477百万円
【前年同期 344百万円】+38.5%
- 欧州:391百万円
【前年同期 193百万円】+102.3%
- 中国:1,418百万円
【前年同期 1,153百万円】+23.0%
- その他アジア:684百万円
【前年同期 643百万円】+6.4%
- その他の地域:15百万円
【前年同期 10百万円】+55.6%

海外販売高合計:2,988百万円
【前年同期 2,345百万円】+27.4%

Point



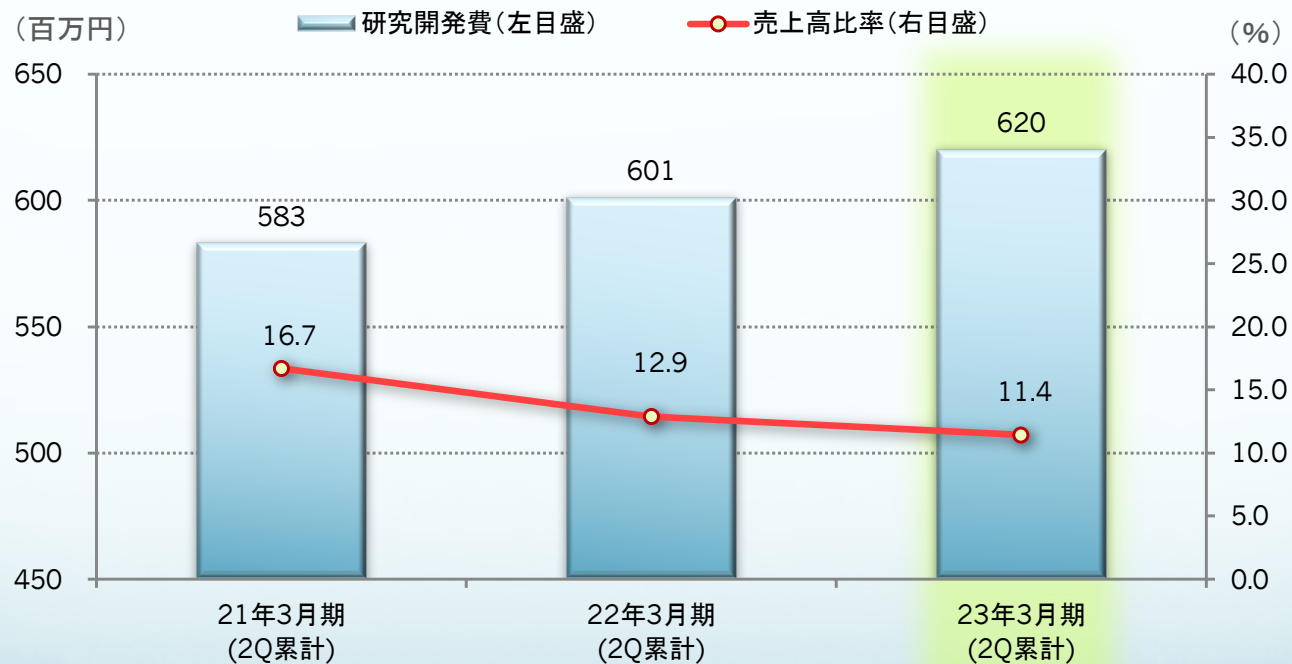
米国では、宇宙産業市場及び設備投資が活況な半導体関連市場への直流電源やグリーンエネルギー政策により需要が拡大しているエネルギー関連市場への交流電源が好調に推移いたしました。
欧州では、車載関連市場への直流電源や交流電源が好調に推移いたしました。
アジアにおいては、中国では、ロックダウン期間中は物流が混乱しましたが、ロックダウンの解除と共に徐々に回復し、また、自動車のEV化が進む中、電池関連市場への安全関連試験機器及び車載関連市場や半導体関連市場への直流電源がそれぞれ好調に推移いたしました。一方、韓国では、車載関連市場への交流電源及び電子負荷装置が堅調に推移いたしました。東南アジアでは、次世代自動車関連市場への交流電源や電子負荷装置が好調に推移いたしました。



2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

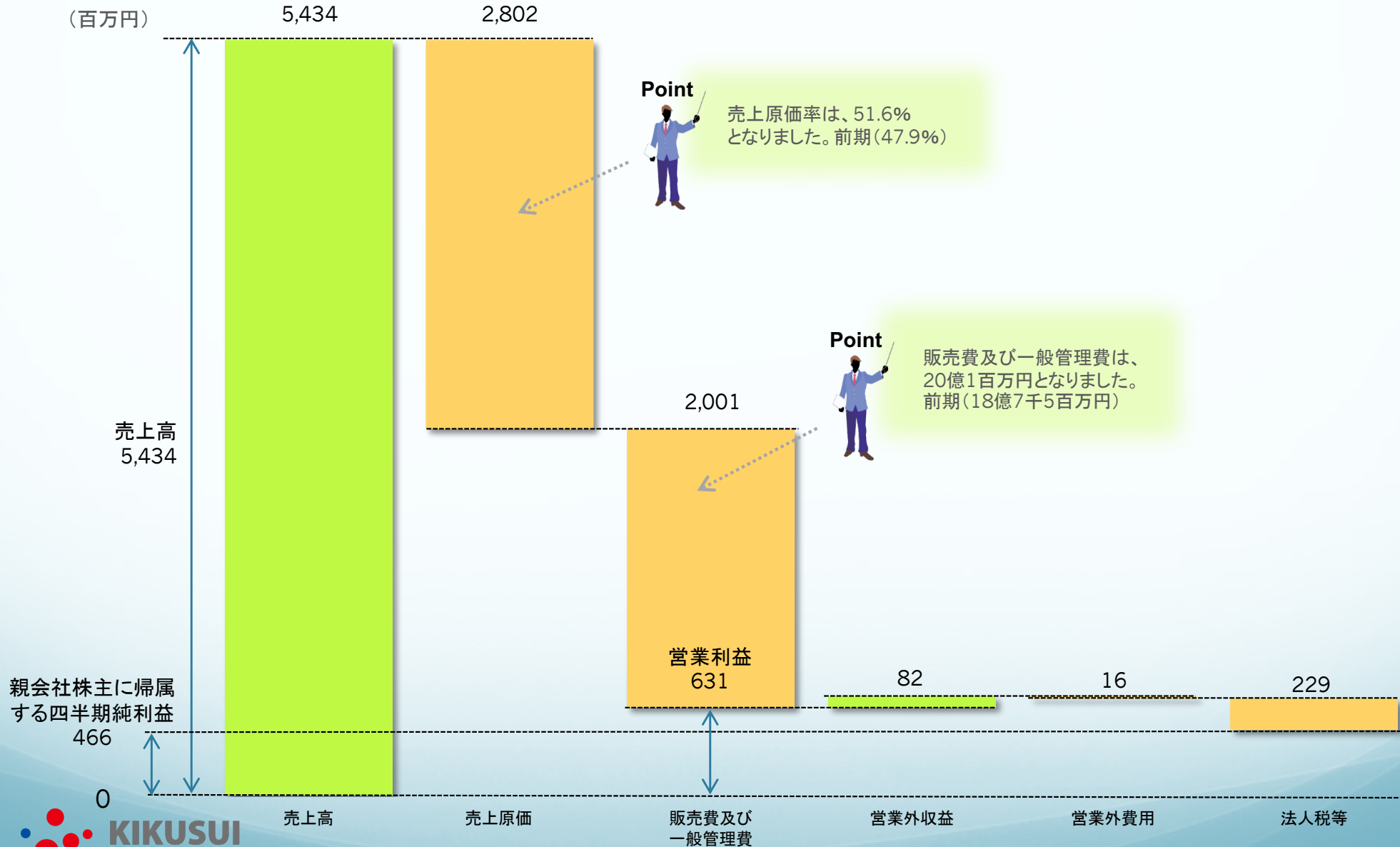
- 研究開発投資 (対売上高比率)

- 620百万円(11.4%)
【前年同期 601百万円(12.9%)】



2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 損益の概況



2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● 貸借対照表

(百万円)

【資産の部】	22/3/31	22/9/30	増減
流動資産合計	8,186	8,366	180
固定資産合計	5,264	5,226	△38
資産合計	13,451	13,593	141
【負債の部】	22/3/31	22/9/30	増減
流動負債合計	1,960	1,758	△202
固定負債合計	573	581	7
負債合計	2,534	2,339	△195
【純資産の部】	22/3/31	22/9/30	増減
資本金	2,201	2,201	-
資本・利益剰余金	8,531	8,755	224
自己株式	△774	△766	7
その他の包括利益累計額合計	959	1,063	104
純資産合計	10,917	11,253	336

2023年3月期 第2四半期累計 連結業績概要

● キャッシュ・フロー

【CF計算書】 単位:百万円 20年/9月期 21年/9月期 22年/9月期

営業活動によるキャッシュ・フロー	497	279	90
投資活動によるキャッシュ・フロー	△237	△52	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△192	△168	△251
現金及び現金同等物の増減額	68	73	△138
現金及び現金同等物の期首残高	2,464	3,088	2,909
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,532	3,161	2,770

Point



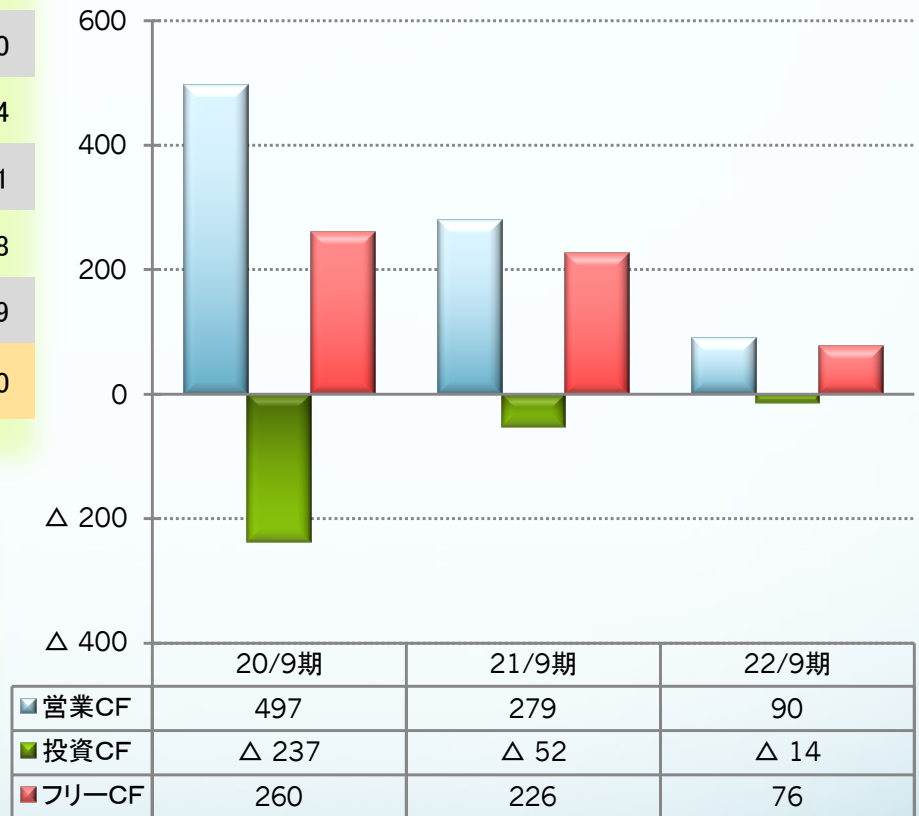
営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の計上等による資金の増加が、棚卸資産の増加等による資金の減少を上回り、9千万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等による資金の減少が、有価証券の売却等による資金の増加を上回り、1千4百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払い等により、2億5千1百万円の支出となりました。

現金及び現金同等物は、前連結会計年度の期末残高に比べ、1億3千8百万円減少し、27億7千万円となりました。

(百万円)



2023年3月期 連結業績予想

2023年3月期 連結業績予想

	22年/3月期	23年/3月期		
	通期実績(百万円)	通期予想(百万円)	前期比増減額(百万円)	前期比増減率(%)
売上高	10,076	11,250	1,173	11.6
営業利益	1,033	1,200	166	16.1
経常利益	1,087	1,300	212	19.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	709	850	140	19.9

	22年/3月期	23年/3月期	
	通期実績(円)	通期予想(円)	前期比増減額(円)
1株当たり 配当金	30.00	30.00	0.00

本資料における注意事項

本資料は、2023年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2022年10月28日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し、又は約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

[本資料および当社IRに関するお問い合わせ先]

菊水ホールディングス株式会社 総務部 IR担当

TEL:045(482)6912 E-mail:ir@kikusui.co.jp URL:<https://kikusui-holdings.co.jp/>